

日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同

海洋生物学分科会

第25期第4回会議 議事要旨

日時：令和4年11月21日（火）15:00-17:00

会議形式：オンライン（zoom）

参加者：安田仁奈、大路樹生、川井浩史、岸本健雄、窪川かおる、長里千香子、中田薫、西田宏記、萩原篤志、原田尚美、堀利栄、三村徹郎（五十音順）

欠席：白山義久、仲岡雅裕、渡部終五（五十音順）

議題

1. シンポジウムについて
2. 国際基礎科学年（IYBSSD2022）連絡会議について
3. 沖縄国立自然史博物館計画の進捗状況
4. その他

前回の議事録

1. シンポジウムについて
 - 大路委員長より、SCOR分科会からシンポジウム「有人潜水調査船の未来を語る（仮）」の共催の打診があり、海洋生物学分科会の開催まで待つ時間がなかったことから、委員長、副委員長、幹事（4名）の間で承諾し、分科会にて確認することとした旨が報告された。
 - 原田委員より公開シンポジウム「有人潜水調査船の未来を語る（仮）」（資料1）の趣旨やプログラムに関する説明がなされ、海洋生物学分科会として共催（学術会議主催のため公式には主催）となることについて正式に承認され、海洋生物学分科会として協力していくことを確認した。
 - 大路委員長より、毎年開催されている自然史科学会連合の講演会に来年（来期）は「海の自然史」として海洋生物学に関わるシンポジウムが催される可能性があるため、海洋生物学分科会も主催として開催する案が出され、承認された。
2. 国際基礎科学年（IYBSSD2022）連絡会議について
 - 白山委員からの資料（資料2-5）をもとに9月12日オンラインで開催された「持続可能な

発展のための国際基礎科学年 2022」(IYBSSD2022) 連絡会議 (第 2 回)の報告が大路委員長よりあった。引き続き、原田委員より G サイエンス学術会議 2023「海洋」執筆対応小分科会における会議報告があった。

3. 沖縄国立自然史博物館計画の進捗状況

- 岸本委員より資料を用いて沖縄復帰 50 周年事業と国立自然史博物館誘致に関連するイベント等について説明が行われた (資料 6)。

4. その他

次回の分科会は、年明けに行う予定。

資 料

1. 【様式】講演会、シンポジウム等主催提案書_v221114
2. IYBSSD_議事次第(第 2 回) .pdf
3. IYBSSD_資料 1_参加委員会一覧
4. IYBSSD_資料 2_0729 学術フォーラムチラシ
5. IYBSSD_資料 4_サイエンスアゴラ_持続的発展のための制度設計分科会
6. 海洋生物学分科会 (25-4) 221121. 岸本 (縮小)